

## 7 下水道事業の財政見通し

予測した将来のシナリオ別の点検・調査費や改築・修繕費を基に、今後の財政収支の予測と検証を行いました。

また、小平市の下水道の財政推計等を踏まえて、今後の事業費の試算及び一般会計繰入金や起債償還額の推移を検討の上、事業実施に当たって必要となる財源を確認しました。

### 7.1 シナリオの設定

以下のシナリオにより、財政シミュレーションを行います。

ケース	シナリオケース
1	平準化シナリオ（健全度Ⅰ～Ⅱを対象に改築を実施）【今回設定シナリオ】
2	単純改築シナリオ（標準的耐用年数50年で改築を実施）

### 7.2 財政シミュレーション設定条件

シミュレーションを実施する際に必要となる諸条件を下表に示します。

表 7.1 財政シミュレーション設定条件

項目	設定値	備考
流域下水道建設負担金	51.4百万円/年	平成24年度決算書の数値を設定
長寿命化事業費		- 今回検討の点検・調査計画の数値を設定
総合地震対策事業費		- 小平市下水道総合地震対策計画の数値を設定
長寿命化事業以外の建設費		- 小平市下水道プランの計画値を設定 (汚水処理対策、浸水対策、合流式下水道改善対策)
補助・単独事業費割合		- 「下水道経営ハンドブック」に示されている一般的な財源内訳を設定
起債利率	2.5%	将来事業、起債利率として設定
流域下水道維持管理負担金	936.1百万円/年	平成24年度決算書の下水道維持費(19負担金、補助及び交付金)を設定
維持管理費	579.3百万円/年	平成24年度決算書の下水道管理費(流域下水道維持管理負担金を除く)を設定
過年度分起債償還費		- 年度別償還推計表より設定
下水道使用料	2,155.8百万円/年	平成24年度決算書の下水道使用料の数値を設定

## 7.3 検証結果

### (1) シミュレーション結果

財政シミュレーション結果を以下に示します。

#### ① 汚水

- ・ ケース 1（平準化シナリオ）とケース 2（単純改築シナリオ）の 100 年間の一般会計繰入金累計額を比較すると、ケース 1 の一般会計繰入金累計額はケース 2 より減少し、平準化により、市財政への負担が軽減されます。（P.68 図 7.1 参照）
- ・ 今回設定したケース 1（平準化シナリオ）では、平成 29 年度（2017 年度）以降、下水道使用料の余剰分が発生する見込みであることから、今後、現在の下水道使用料の水準で、下水道事業経営が可能となります。要因としては、これまでの汚水整備に対する起債償還のピークを超えており、将来の公債費が減少傾向にあるためです。
- ・ 今後発生する下水道使用料の余剰分を、基金として積み立て、改築事業費の財源とすることにより、一般会計繰入金が必要なくなります。
- ・ 留意すべき点として、流域下水道建設負担金は、平成 24 年度（2012 年度）の決算値を固定値として設定していますが、今後、流域下水道側での改築事業等の状況によっては、増加する可能性があります。また、下水道使用料収入についても、検討条件として固定値を設定していますが、景気動向などにより変動する可能性があります。

#### ② 雨水

- ・ ケース 1（平準化シナリオ）とケース 2（単純改築シナリオ）の 100 年間の一般会計繰入金累計額を比較すると、ケース 1 は、ケース 2 の一般会計繰入金累計額より少なくなり、平準化による市財政への負担が軽減されます。（P.70 図 7.3 参照）

表 7.2 財政収支予測結果

ケース名	検証結果	評価
<p>ケース1 平準化シナリオ (今回設定シナリオ)</p>	<p>■汚水</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ケース2と比較すると、100年間の一般会計繰入金累計額は減少し、平準化により一般会計への負担が少なくなり、市財政への負担が軽減されることが確認できる。</li> <li>・これまでの汚水整備の起債償還が概ね完了する平成29年度(2017年度)以降は、下水道使用料のみで事業実施が可能となり、一般会計からの繰入金は不要となる。</li> </ul> <p>■雨水</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ケース2と比較すると、100年間の一般会計繰入金累計額が少なくなり、平準化により一般会計への負担が少なくなり、市財政への負担が軽減されることが確認できる。</li> </ul>	<p>○</p>
<p>ケース2 単純改築シナリオ</p>	<p>■汚水</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各年の事業費の増減が大きいため、下水道事業経営の安定化が難しい。</li> <li>・改築費用の急増により、起債償還分を下水道使用料で賄いきれなくなり、一般会計への負担が大きくなる。</li> </ul> <p>■雨水</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各年の一般会計繰入金の増減や累積が大きく、市財政への影響が大きいため、下水道事業以外の事業に対する影響も懸念される。</li> </ul>	<p>×</p>

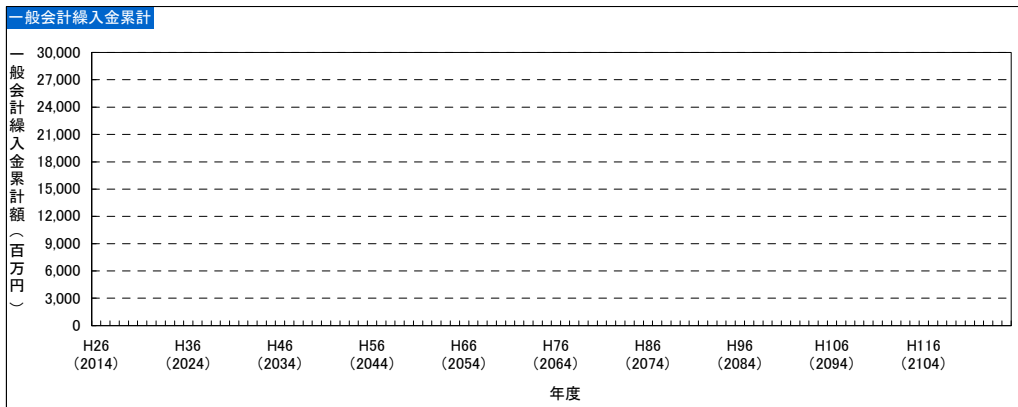
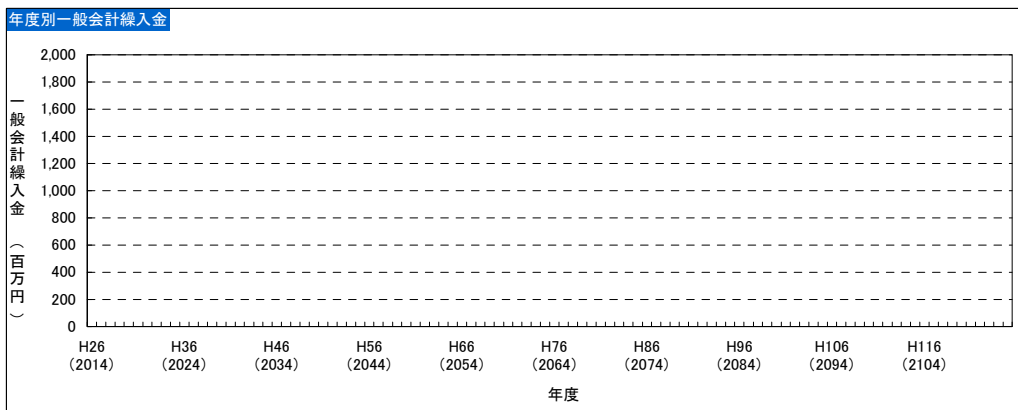
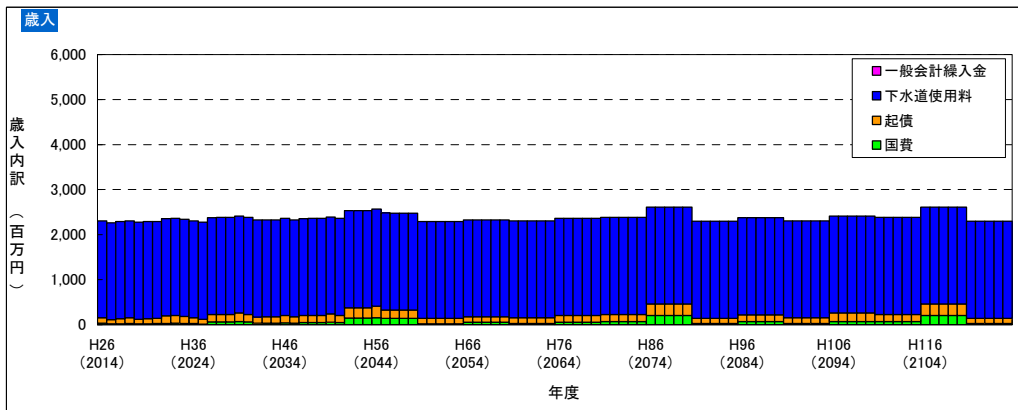
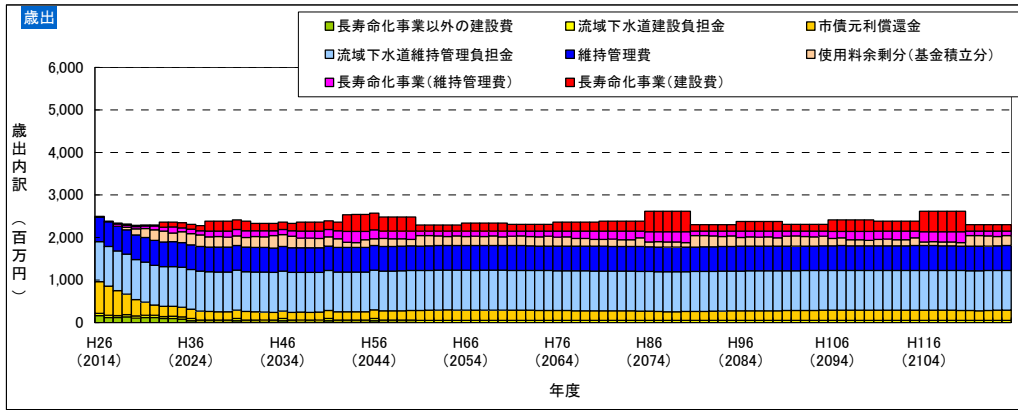


図 7.1 ケース 1 財政シミュレーション結果 平準化シナリオ(汚水)

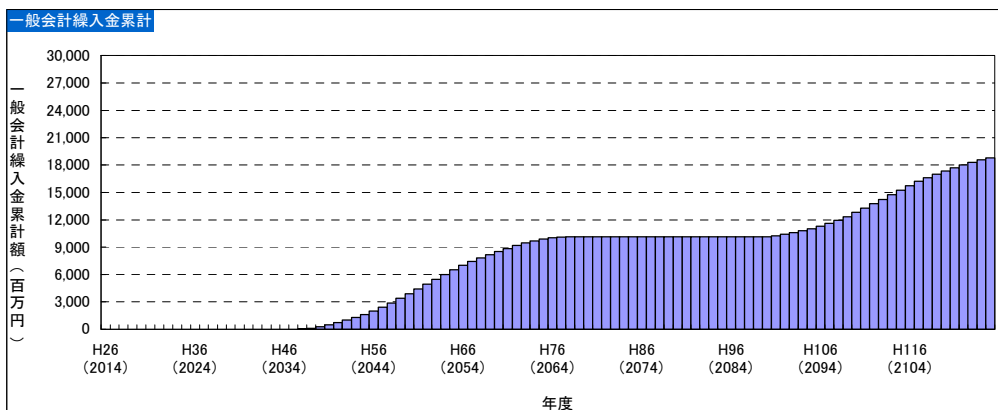
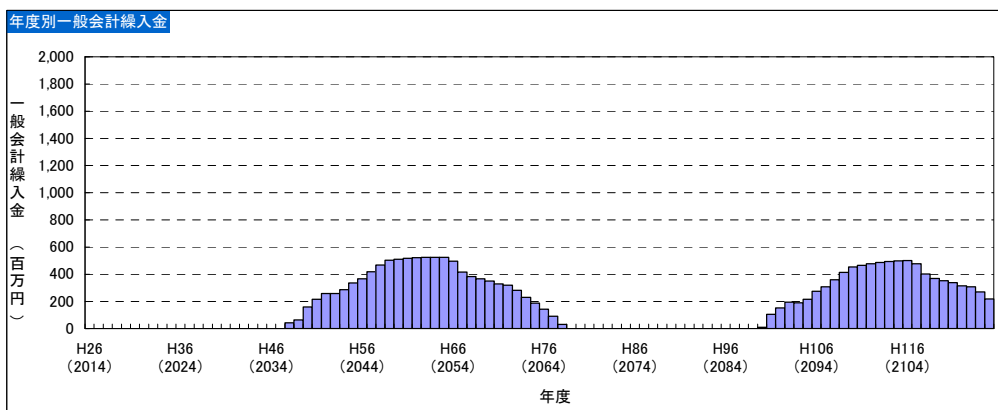
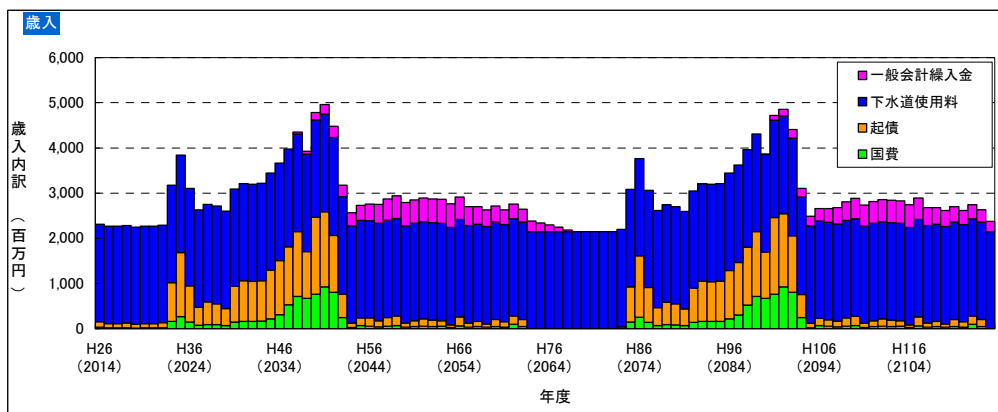
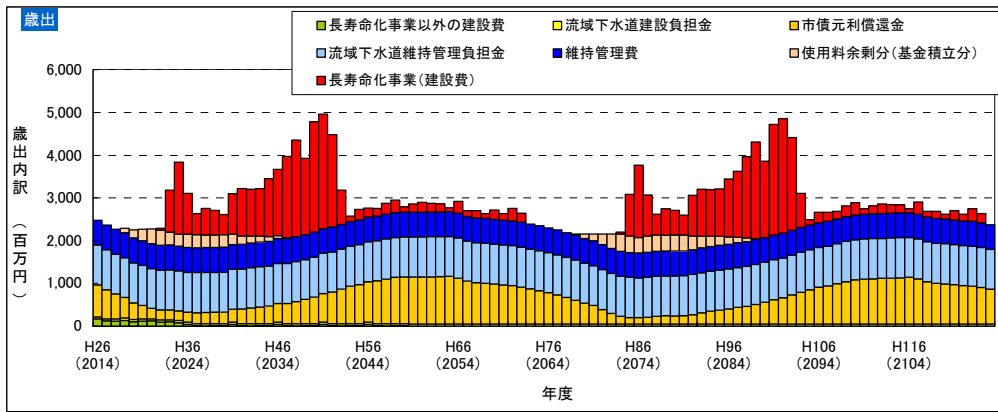


図 7.2 ケース2 財政シミュレーション結果 単純改築シナリオ(汚水)

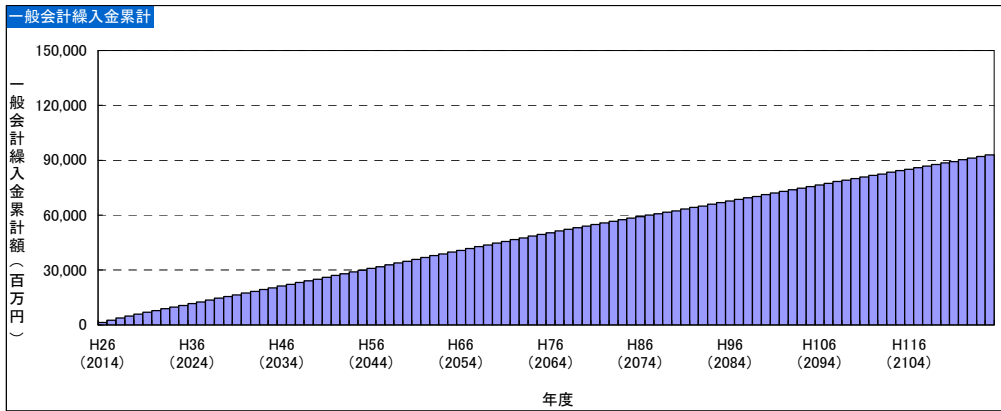
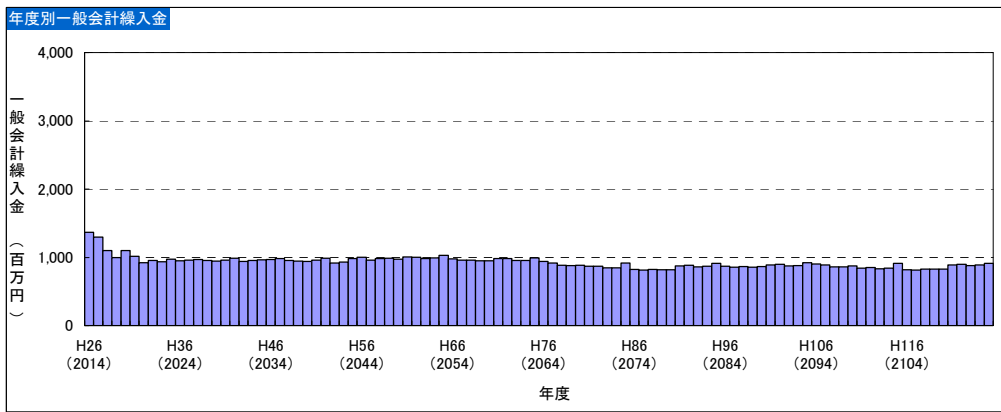
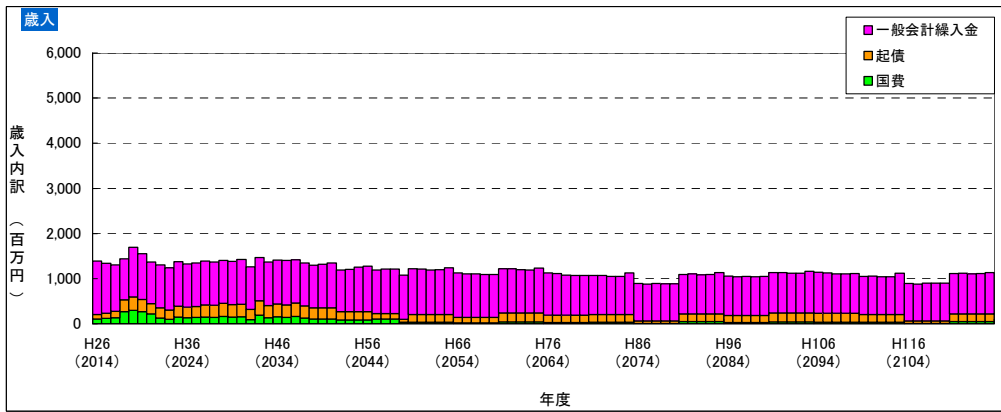
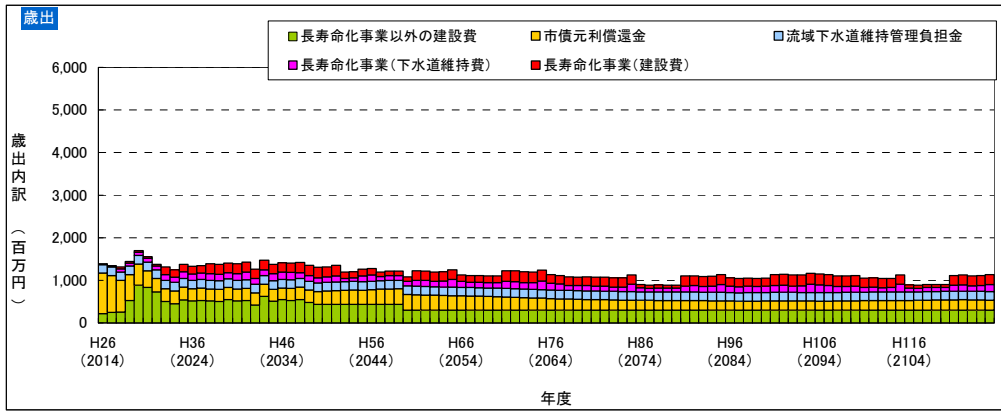


図 7.3 ケース 1 財政シミュレーション結果 平準化シナリオ (雨水)

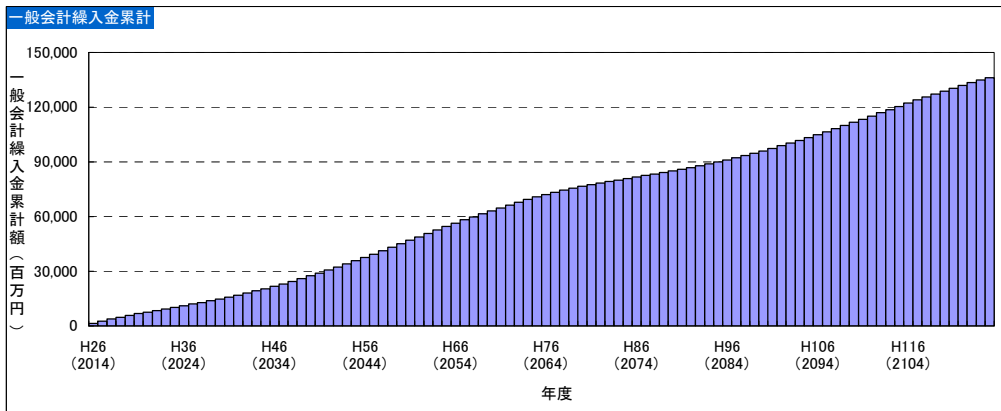
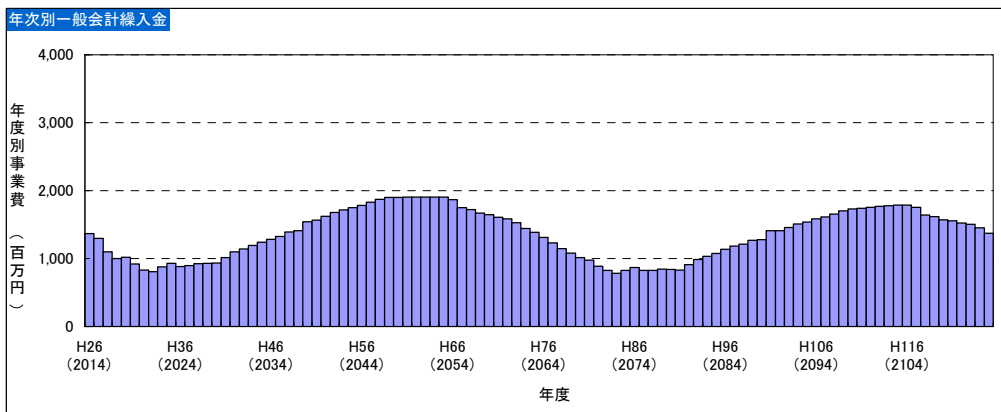
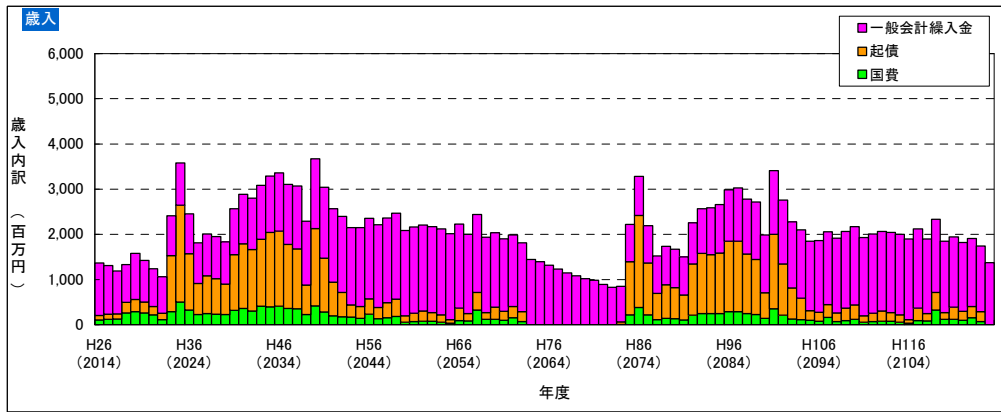
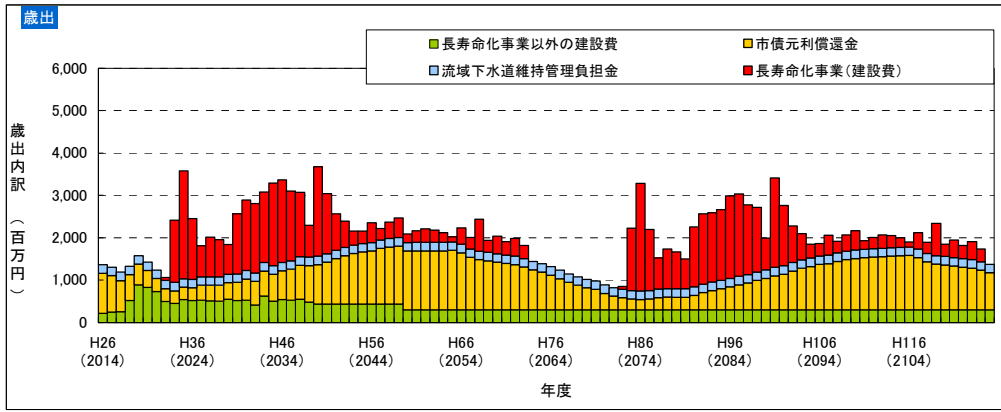


図 7.4 ケース2 財政シミュレーション結果 単純改築シナリオ (雨水)

## (2) 事業費比較

ケース1（平準化シナリオ）とケース2（単純改築シナリオ）について、今後の事業費（建設費＋維持管理費）の推移を下図に示します。

ケース1（平準化シナリオ）の採用により、年間事業費の平準化を図るとともに、健全度Ⅰ～健全度Ⅱの管きょに対する予防的対策が可能となります。ケース2（単純改築シナリオ）との比較の結果、今後100年間の総事業費は、約630億円（年あたり約6.3億円）削減されることが見込まれます。

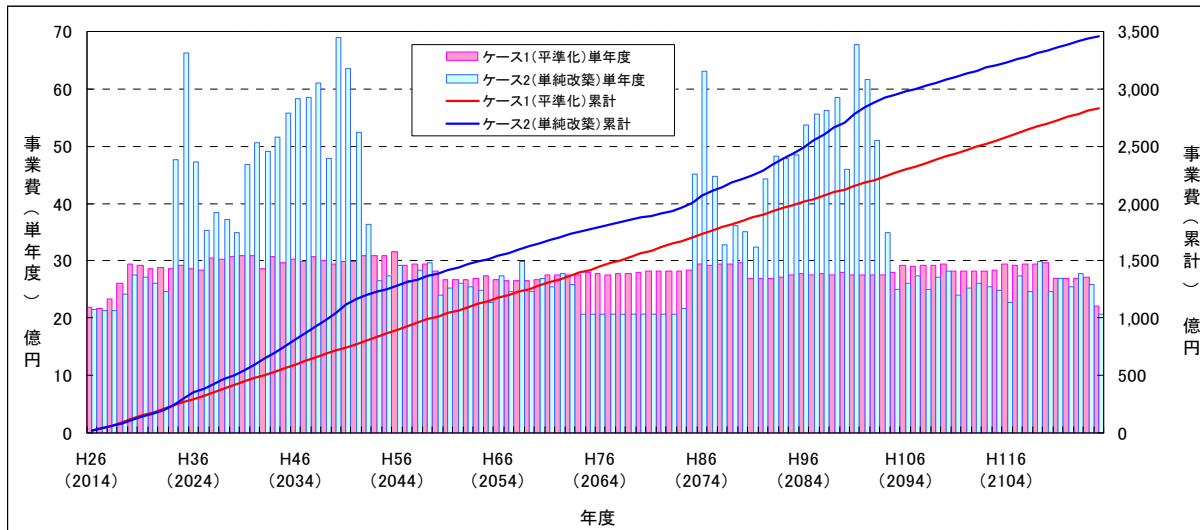


図 7.5 事業費の比較



## 小平市下水道長寿命化基本構想

発行年月 平成 26 年（2014 年）3 月  
編集・発行 小平市環境部下水道課  
住 所 〒187-8701  
小平市小川町二丁目 1333 番地  
電話番号 (042)341-1211（代表）  
ファックス (042)341-9520  
電子メール gesuido@city.kodaira.lg.jp  
価 格 ￥1,100

この印刷物は再生紙を使用しています。



小平市ふれあい下水道館  
キャラクター  
ヒルガタワムちゃん

～快適な生活環境を支える下水道～

**小平市**